



しがCO₂ネットゼロ 次世代ワークショップ

私たちのネットゼロアクションを考えよう!

高校生・大学生で考える
滋賀のCO₂ネットゼロ社会!

2022



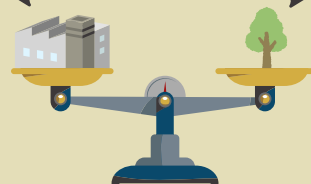
滋賀県

CO₂ネットゼロって何？

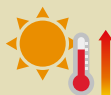
CO₂などの温室効果ガスの人為的な排出を減らし、森林などの吸収源を確保することでCO₂の排出量と吸収量の均衡を図ること。

排出を減らそう！

吸収源を増やそう！



このままCO₂が増えたら...



気温上昇



災害



生態系の変化



水・食料の不足



社会・経済への影響



健康への影響



地球や私たちの暮らしがピンチ！

しがCO₂ネットゼロ・次世代ワークショップとは？

しがCO₂ネットゼロ・次世代ワークショップとは、滋賀県で持続可能な社会の実現に向けて取り組む地域、団体、企業へのフィールドワークを通して、滋賀県らしいCO₂ネットゼロの行動・取組アイデアを考えるプログラムです。ワークショップでの意見交換等を通じて生まれたアイデアを広く発信することにより、滋賀県内のCO₂ネットゼロに向けた取組機運の向上を図ることを目的としています。

プログラム内容

DAY
1

キックオフ・ワークショップ

プログラム全体についてのガイダンスや滋賀県のCO₂ネットゼロ社会づくりの取組の紹介を行いました。さらに参加者同士の自己紹介や交流会も行いました。

DAY
2

多賀町・森林活用フィールドワーク

CO₂ネットゼロの実現を目指す具体的な取組を参加者に紹介し、ひとと森林の関係を見直し持続可能な森林活用の仕組みを学びました。間伐材を活かした製品など、資源を循環させ森林と私たちの暮らしをつなぐ現場でフィールドワークをしました。

DAY
3

長浜市・まち歩きフィールドワーク

長浜市街地の航空写真を見て、そこからまち歩きを行い、再生可能エネルギーの導入や交通面での脱炭素な取組、ゼロカーボンなまちづくりについて考えました。

DAY
4

アイデアブラッシュアップ

オンラインツールを活用して、滋賀県地球温暖化防止活動推進員との意見交換を行い、アイデアをブラッシュアップしました。

DAY
5

成果報告会

各チームや個人で考えたCO₂ネットゼロ行動・取組アイデアを発表しました。

活動報告

DAY
1

キックオフ・ワークショップ

#みんなで問題意識を共有

2022.9.18 @滋賀県庁

ワークショップに参加した大学生11名、高校生3名による顔合わせ。アイスブレイクで緊張をほぐしながら自己紹介を行いました。滋賀県の担当者から滋賀県のCO₂ネットゼロ社会づくりの取組の紹介がありました。ワークショップでは、「5日間でCO₂ネットゼロ社会の実現に向けた取組を自分ごと化する」ために目標を合わせるためのグループインタビューをし、参加者それぞれが持つ問題意識を共有しました。



DAY
2

多賀町・森林活用フィールドワーク

2022.9.21 @高取山ふれあい公園・多賀中央公民館「多賀結いの森」

レクチャー

#持続可能な森林活用の仕組みを学ぶ

一般社団法人kikito代表理事の大林さんと事務局長の山口さんから、世界的な森林減少や世界の持続可能な森林活用に対する考え方、ひとと山をつなぐ役割を担うkikitoの活動を説明していただきました。次に、大滝山林組合の田中さんに、森林の多面的な機能や歴史など、より地域に密接している部分についてお話しいただき、山における森林保全の必要性を考えさせられました。



フィールドワーク

大滝山林組合の田中さんの説明のもと、全員で高取山ふれあい公園内をフィールドワークしました。様々な木の利用方法を紹介していただき、木質ペレットが生成されている様子や、炭窯の中も見学しました。切り出された大きな丸太の前で、木材の市場取引価格についても説明を受けました。現場を見て、話を聞くことで、林業の実態をより深く知ることができました。



グループディスカッション

「多賀結いの森」へ移動し、フィールドワークの振り返りと今後の展望やアイデアを話し合いました。ブレインストーミングを行い、自由にディスカッションをすることで、全員が持つ問題意識に対して、解決策や新しいアイデアなどを議論することができました。



昼食

昼食は、多賀町の方が作られた、地場野菜のお弁当を美味しくいただきました。



 kikito

一般社団法人 kikito

森林と豊かに暮らすことができる未来をめざし、ひとの営みと森林が結びつくカタチを丁寧に育てるプロジェクトを進める。滋賀県湖東地域を中心にびわ湖の森を元気にする仕組みづくりをしている。



公式サイト
<https://www.kikito.jp/>

DAY
3

長浜市・まち歩きワークショップ

2022.10.23 @BIWAKO PICNIC BASE

#脱炭素の取組を
地域の課題解決へ繋げるには?

レクチャー



甲賀市出身で自然電力株式会社に勤める古谷さんよりレクチャーを受けました。世界の脱炭素に向けての動向、再生可能エネルギーの導入やマイクログリッドの取組についてお話しいただきました。「僕は、『再生可能エネルギー100%の世界を共につくる』という図が好きなんです。」と古谷さんは話しており、再生可能エネルギー導入により、地域をより良くしたいという熱意を感じました。

長浜のまちを歩く

長浜まちづくり株式会社の竹村さんより、長浜のまちの歴史について、航空写真を用いて説明がありました。その後、参加者全員で長浜の黒壁周辺のまち歩きを行いました。「古い街並みや伝統的な祭り・地域コミュニティなどの伝統的なものを保全しながら、時代に沿って新しいものを作り上げていく必要がある」と竹村さんは強調しており、歴史のある地域で脱炭素に取り組むことの難しさや面白さ、さらにはやりがいを感じました。



グループディスカッション

「脱炭素×〇〇」というテーマのもと、地域でできる脱炭素の取組について話し合いました。脱炭素×「防災」「地域内経済」「観光・交通」「アート・芸術」「農業、林業」などの先行事例を知り、専門分野のメンターからアドバイスをもらいながら、グループのアイデアをまとめました。



自然電力

自然電力株式会社

「青い地球を未来につなぐ」を存在意義に掲げ、日本国内外で太陽光・風力といった再生可能エネルギーの開発、EPC(設計・調達・建設)、運用・保守、エネルギーマネジメントシステムの開発を手掛ける。

長浜まちづくり株式会社

長浜市中心市街地の活性化を目的とし、市街地のタウンマネジメントに関する事業を営む。「長浜町屋再生バンク」やシェアスペース「どんどん」の運営を行っている。



▲どんどんHP
<http://dondonbashi.com/>

DAY
4

アイデアブラッシュアップ

2022.11.6 @オンライン

#みんなでアイデアをより良いものに

滋賀県地球温暖化防止活動推進センター(公益財団法人淡海環境保全財団)の来田さんより、活動概要と推進員の活動についての話題提供がありました。次に、中間発表として、DAY1-3の体験を踏まえたCO₂ネットゼロアクションのアイデアをグループごとに発表しました。発表を踏まえて、アイデアをさらに具体的にするためにオンラインのブレイクアウトルームに分かれて分科会を行いました。滋賀県地球温暖化防止活動推進員の本江さんと松田さんの協力のもと、少人数グループでアイデアについて活発な意見交換を行いました。



滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

滋賀県内で地球温暖化問題についての気づきと行動のための拠点として相談や助言、講座の開催などの、普及啓発・広報活動を行ったり、地球温暖化防止活動推進員等の活動の支援を行っている。

公式サイト
<https://www.ohmi.or.jp/ondanka/>



これまでの活動を踏まえて各グループで「CO₂ネットゼロ×〇〇」のアイデア発表と個人で「マイCO₂ネットゼロ宣言」を発表する二部構成で最終成果報告会を行いました。



▶ CO₂ネットゼロ×〇〇 ◀

防災



ソーラーパネルを備えた、防災拠点として活用できる自動販売機

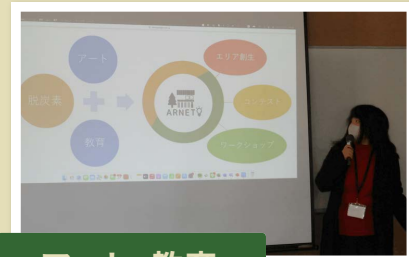
京都大学・立命館大学
龍谷大学

農業×ビジネス



コンポストの活用で、地元の野菜購入に使用できるポイントが貯まる仕組み

立命館守山高等学校



アート・教育

ワークショップ・エリア創生・コンテストにより、若い世代・アーティスト・地域を繋げる

滋賀大学・立命館大学



働き方改革

廃棄油燃料化事業×空き家コワーキングスペース

立命館大学・龍谷大学

ワークショップに参加して



滋賀大学 教育学部 1回生
明山 真愛さん

ワークショップに参加して、CO₂ネットゼロに対する意識が大きく変わりました。皆が大きな目標に向かって一緒に頑張っていくことに加えて、それぞれが自分にできる方法でCO₂ネットゼロに働きかけることも大切であると感じました。これからは、環境問題をはじめとした社会問題に対して自分はどのように行動できるか、さらには、どんなことに挑戦できそうかを考えていきたいです。

私はこのワークショップで様々な視点からCO₂ネットゼロについて考えることができました。多賀町、長浜市でのひととの出会いや環境に触れ合えた体験が、より自分たちのCO₂ネットゼロアイデアや学びを深めることにつながりました。ここで得た知見を活かしながら、今後も色々な社会問題にチャレンジしていきたいです。



立命館守山高等学校 3年生
久徳 大貴さん

▶ ▶ ▶ ▶ マイCO₂ネットゼロ宣言 ◀ ◀ ◀ ◀

今回のワークショップで得られた学びから、自分自身の過去・現在・未来とつながる、マイCO₂ネットゼロ宣言を考え、発表しました。発表の際にはそれぞれが宣言に込めた想いを熱く語りました。

次の世代を担う人として
主体的な行動をする。

趣味を通して脱炭素に対する
『きっかけ』をつくる!



Father Forest (父なる森)と
共に生きる!!

環境を常に意識する
「不動産デベロッパー」になる!!

しがCO₂ネットゼロフェスタ

2023.1.14 @ピアザ淡海

「しがCO₂ネットゼロフェスタ」において、次世代ワークショップの活動報告とブース展示を行いました。活動報告では、ワークショップのファシリテーターである成安造形大学の田口さんから概要や成果を説明した後、参加した大学生から5日間を通して得られた学びと感想を共有しました。ブース展示ではVR機器を活用し、紙をなるべく使わずに説明しました。VR空間ではデジタルブックレットやワークショップの写真、ダイジェスト映像を見ることができ、家族連れを中心に多くの方にVR体験を行っていただきました。

もっと知りたい!!

ワークショップの様子を
noteで発信しています!



ダイジェストムービーを
YouTubeで配信中!



しがCO₂
ネットゼロ
ムーブメント

滋賀県 総合企画部
CO₂ネットゼロ推進課

☎ 077-528-3493

✉ cg00@pref.shiga.lg.jp



専用サイト
ゼロナビしが

2023年2月 発行 発行 | 滋賀県

制作 | 一般社団法人インパクトラボ